

7.25中央総決起集会
12:15~日比谷野外音楽堂
夏期闘争勝利を目指し
集結しよう

練馬労連

発行所：練馬区労働組合総連合
 練馬区中村北1-6-2
 東京土建練馬支部内
 電話03-3825-7146
 fax 03-3825-7117



真剣に聞き入る拡大幹事会参加者の皆さんと会場の様子



参加者を引き込む佐藤弁護士の講義



JAL原告団、池田さん(左)堀内さんの訴えは、我々に勇気をもたらし

池田清さん、乗客原告団事務局次長、堀内せい子さんをお招きして発言して頂きました。お二人は訴えます。「もはや、裁判所は正義ではありません。こんなにも理不尽な

あなたは一人じゃないヨ
 ここには、こころ暖まる仲間がいる！！
 『さあ！手をつなごう』

CU東京練馬支部

2012年6月20日練馬連拡大幹事会が各単組21名の参加で開催されました。阿部弘明事務局長より、「情勢と活動報告、当面の活動」について報告、提案がありました。

「昨年の非正規労働者は前年比48万人増加、雇用者に占める割合は35.2%となる一方、正規労働者は25万人減少している。」「15歳から34歳の死因の第一位が自殺となっている。」「など将来に希望がもてない若者が増加

学習会は「JAL不当判決は労働者に何をもたらしたか」というテーマで講師は佐藤誠一弁護士(東京南部法律事務所)にお願ひしました。ご存知のとおりJAL不当解雇事件とは、2010年12月31日パイロット81名スチュワーデス84名が解雇され、翌年

業員を解雇する理由など全くなかった。ではなぜ解雇したのか。それは組合活動家や会社にとって不利益性の多い人達に邪魔だったからだ。と述べました。JALを良くしようと頑張ってきた組合活動家を踏みこじる行為で決して許せること

団事務局次長、池田清さん、乗客原告団事務局次長、堀内せい子さんをお招きして発言して頂きました。お二人は訴えます。「もはや、裁判所は正義ではありません。こんなにも理不尽な

闘っていきましよう。」「という挨拶があり、拡大幹事会は成功しました。

2012年度 練馬労連拡大幹事会開催

非正規前年比 48万人増加

2012年6月20日練馬連拡大幹事会が各単組21名の参加で開催されました。阿部弘明事務局長より、「情勢と活動報告、当面の活動」について報告、提案がありました。

「昨年非正規労働者は前年比48万人増加、雇用者に占める割合は35.2%となる一方、正規労働者は25万人減少している。」「15歳から34歳の死因の第一位が自殺となっている。」「など将来に希望がもてない若者が増加

1月19日に提訴、2012年3月29、30日に不当判決がでた事件です。佐藤弁護士は「その当時JALは連営業利益で過去最高の1884億円を計上した。(目標額の2.9倍の実績)決して経営難ではなく従

「こんなことが許されるのなら、労働者を企業が自由に解雇できる社会が当たり前になっ てしまいます。」「私たちは、全ての労働者のためにも決して諦めず最後まで頑張ります。どうぞお力添えを！」切実に訴えるお二人の言葉から

東京地裁 わずか3人の裁判官が 労働裁判を左右する？

判決は、全ての労働者を自由に解雇できるという恐ろしい前例をつくってしまう可能性がある。」「これを阻止するために、JAL原告団の皆さんと共に皆で頑張ろうではありませんか！」と語りました。また、JAL不当解雇撤回裁判原告団より、乗員原告

その後各単組から、現場の厳しい現状の中懸命に闘っている仲間達からの報告(向山保育園からは忙しい中文書により報告)がありました。最後に千田副議長から「どんなに私達が頑張っても、報われない現実がある。でも自分を信じて、自分に誇りを持って闘っていきましよう。」「という挨拶があり、拡大幹事会は成功しました。

企業の解雇自由を後押

「このことが通るなんて！」

賃金が上がらない厳しい現実！

練馬労連平和ツアー 福島へ！



福島は訴える

6月30日、7月1日の両日、練馬労連平和ツアーが、参加者39名で行なわれました。参加者は、地域の各単組の皆さんのみならず、新聞の折込を見て個人で参加した方、友人の紹介で参加した方など、老若男女を問わず、様々な方々の参加がありまし

た。現地では福島農民連の根本さん、広野町議の畑中さんら、地元の方々より懸命な報告、訴えがありました。ツアー参加者のリアルな思いや感想を特集しました。



瓦礫でプールが埋まってしまった中学校今は汚染物質処理施設

脱原発の旅

とで、気づかされること、多かつたこと！本当に復興

家族が バラバラに

地で生活することの困難さが家族を壊すのだと実感しました「福島を忘れないで」という思いを生徒達に伝えたいと思います(MSさん)家の土台だけが残り当時

は、始まったばかりと思わざるを得ませんでした。現在は、脱原発に向けて勧めて行きたいものです。必ず道は開けると期待しています。(SOさん)

根本さんが、「私たちに出来ることを、節電！自然エネルギーへの転換への道を拓く運動を進める」とおっしゃっていたことが、心に



高濃度汚染物が入れた黒ポリ袋の山

様々な皆さんの声がありました。私たちは福島で実際に感じて学んだことを、決して忘れず、今後の脱原発の運動に活かしていこうではありませんか。

大きな天災と、原発による人災を受けた福島の一部を知ることが出来ました。心に深く止めて行きたいと思えます。(YIさん)畑中町議、福島農民連根本さん、何度が被災地を訪

れている添乗の方、ガイドさんのお話を聞くこと、労連の企画らしく、様々な労組の方の出席があり益したが、今の労働運動を知

和やかな雰囲気ツアーでも楽しかったです。年配の人が多くので、ゆったりめの行程がちょうど良かったのではないのでしょうか。(FKさん)

だれも相談をする人が無いまま個人で申し込んだけど意外な人達と友達になれ嬉しかった。日常的に思いの一致できる人々との旅行は安心してお付き合いが出来て大変良かった。温泉ホテルも素敵で満足でした。ご馳走もおいしかったです。ありがとうございました。(IYさん)



地元広野町議畑中夫子さん

強欲な復興ビジネス

完全に復興ビジネスに強欲さを発揮している。復興ビジネスにシロアリのように群がっているのが判る。(ONさん)

黒は高濃度？ 白は低濃度？

(黒は高濃度)がただ野ざらしになっている。被災された人たちは、津波で被害を浴び、原発という悪魔に襲われダブルパンチ。気の毒でならない気持ちになりました。原発などいらない日本をつくるべきです。(HIさん)

残りしました。(RIさん)広野町の「ヴィレッチ」などをみると、ゼネコン、原発関連メーカーが、

広野町の見学では、畑中町議の話と、津波の跡地の凄さと、瓦礫の山、汚染物を入れた黒と白のポリ袋

防災訓練の名で日米共同軍事訓練

自衛隊がまたまた、不穏な動きをしています。全都23区において、米軍と共同で軍司訓練を行なったというものです。

陸上自衛隊第一師団第一普通科連隊(練馬区)が迷彩服姿の250名からなる隊員を各区役所に派遣、通信訓練などを行いそのまま区役所に宿泊。23区のうち宿泊や施設を提供するのは練馬区を含め11区(7/10現在、北区、目黒区は毅然としてこれを拒否!)。区役所は区民の財産であり、いわば区民の家です。我が家を無法者(自衛隊

法)の趣旨を守らない自衛隊)にお貸しするわけには参りません。練馬労連では、各単組、東京平和委員会や市民団体、弁護士と共に、詳細な情報の提供、中止などを求め、防衛省、練馬区防災課、練馬警察署などに申し入れを行いました。私たちは、練馬区に対しては「自衛隊が単独で実施する点で自衛隊法の趣旨に反する本訓

練馬区が申し入れること」などを含む要望書を提出しましたが、練

馬区は「訓練は自衛隊による独自の訓練、区はその一部に協力するものです。区が訓練の中止を申し入れる立場にありません」としてこれを却下。7/12城北の種田弁護士とS.S.さんの連名により練馬区に対し住民監査請求を提出。私たちは共に、防災訓練に名を借りた日米共同軍事訓練を許さない運動をあげていきたいと思います。

